

公益財団法人新潟県スポーツ協会

令和2年度 事業計画

基本方針

- 1 「将来構想～今後10年の展望～」(平成24年度策定)の基本方針に基づき、この将来構想の実現に向けての重点項目である「競技力の向上、スポーツの普及、組織力強化、財政基盤強化、県立スポーツ施設整備の要望」について、本会加盟団体を始め、新潟県並びに関係機関・団体等との連携強化・協働を図り、着実な促進を図る。
また、「新潟県スポーツ推進プラン」の実現に向けて寄与する。
- 2 本県から今年7月に開幕を迎える2020東京オリンピック含むオリンピックに出場し活躍する選手の輩出に向け、新潟県、市町村、企業、競技団体等と連携しながら選手の発掘・育成等を推進し、新潟県の競技水準の向上とスポーツの普及・振興を図るとともに、関係機関・団体等と連携し、開催に向けてのプロジェクト・イベント等の推進に協力していく。
また、障がい者スポーツの普及・振興に寄与するため、関係機関・団体等との連携を図る。
- 3 地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する仕組みづくりをより充実するため、新潟県広域スポーツセンター事業を中心として総合型地域スポーツクラブの充実、スポーツによる地域活性化の促進を図るとともに、国の第2期スポーツ基本計画等に基づき創設される「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」及びその運営主体となる中間支援組織に関する検討を進める。また、幼児期からの運動習慣アップのための支援の推進及びスポーツを通じて次代を担う青少年の健全育成を図るためのスポーツ少年団の育成・充実に取り組む。
- 4 昨年、スポーツ庁が制定した「スポーツ団体ガバナンスコード」を踏まえ、コンプライアンスの徹底やガバナンスの強化等クリーンでフェアなスポーツの推進を加盟団体等と取り組み、新潟県のスポーツ・インテグリティを高め、併せてスポーツ文化の発展を促す。
- 5 「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の指定管理者として、適切かつ効果的な施設管理を行うとともに、競技水準の向上及び健康づくり活動を推進する。また、魅力ある施設として県民に認識されることで、施設の「賑わい」「活性化」を目指す。

A 公益事業 (R2 : 445,332 千円 R1 : 481,422 千円)

I 競技力向上対策事業の推進<県受託・自主>

(R2 : 214,215 千円 R1 : 233,279 千円)

1 競技水準向上対策運營業務 (R2 : 33,487 千円 R1 : 34,332 千円)

国民体育大会男女総合成績 10 位台定着に向け、本県の競技水準の維持・向上を図る。

会議名	期日	会場
国体実施競技団体理事長 ・総括責任者会議		
第1回	令和2年6月28日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和2年11月14日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第3回	令和2年3月13日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第75回国民体育大会 監督会議・結団式	令和2年9月6日	新潟ユニゾンプラザ

2 競技水準向上対策事業 (R2 : 160,728 千円 R1 : 165,927 千円)

(1) 新潟スーパージュニア養成事業 (R2 : 75,319 千円 R1 : 80,168 千円)

ア 新潟ジュニア育成事業 (R2 : 36,983 千円 R1 : 39,262 千円)

ジュニア選手(小学生・中学生・高校生)を対象とした計画的・継続的な強化活動の実施により、国体等の全国大会で活躍できる競技力の向上やトップアスリートの育成を図る。

イ 育成指導者配置事業 (R2 : 38,336 千円 R1 : 40,906 千円)

優秀な実績を有する指導者を配置することで競技力向上を図ることのできる競技について、指導者を配置して日常の強化活動の充実を図る。

(2) 強化事業 (R2 : 85,409 千円 R1 : 85,437 千円)

ア 国体強化事業 (R2 : 70,020 千円 R1 : 71,010 千円)

当該年度の国体選手の強化活動を支援し、本県の競技力の向上を図る。

イ 強化スタッフ支援事業 (R2 : 2,871 千円 R1 : 5,544 千円)

国体に支援コーチ等を派遣し競技成績の向上を図るほか、強化活動現場へスポーツドクター、トレーナー等を派遣することで、障害予防やコンディション調整等、指導者や選手をサポートし、本県の競技力の向上を図る。

ウ 社会人・企業スポーツ指定強化事業 (R2 : 2,085 千円 R1 : 2,300 千円)

社会人競技スポーツに積極的に取り組んでいる企業、団体の強化活動等を支援し、本県の社会人スポーツの振興を図る。

エ 新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営 (R2 : 413 千円 R1 : 583 千円)

社会人・企業スポーツの振興のため、新潟県社会人スポーツ推進協議会を運営する。また、協議会活動の周知及び優秀選手・指導者の定着を促進するため、会員企業等から協賛金を募り、企業とアスリートの相互の情報交換を行うとともにスポーツを通じた社会貢献や地域活性化のための講演会を行う。

オ トップコーチ等招へい事業 (R2 : 2,000 千円 R1 : 6,000 千円)

豊富な知識と経験を有し、高度な技術や戦術を指導・助言ができるトップコーチを国内外から招へいすることで、全国やオリンピック等世界で活躍できる選手を育成するとともに、本県指導者の資質向上を図る。

カ 社会人スポーツ雇用支援事業 (R2 : 2,500 千円 R1 : 4,000 千円)

優秀な社会人選手や指導者が新潟を拠点に活動できるよう、雇用を受け入れる企業等の支援を行い、地域貢献や競技力向上に寄与する。

キ コーディネーター配置事業 (R2 : 5,520 千円 R1 : 5,520 千円)

優秀な選手や指導者が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりなどを行うためにコーディネーターを配置する。

3 オリンピックアスリート夢チャレンジ事業 (R2 : 20,000 千円 R1 : 31,520 千円)

オリンピックアスリート活動支援事業 (R2 : 20,000 千円 R1 : 22,000 千円)

中央競技団体等の指定を受けるなど、高い競技力を有する選手が国内外で実施する強化活動の支援を行う。

II 国民体育大会関連事業・業務の推進<県補助・自主>

(R2 : 1,405 千円 R1 : 3,750 千円)

1 国民体育大会への本県選手団派遣

大会名	会期	開催地
第75回国民体育大会本大会	令和2年10月3日 ～13日	鹿児島県
第76回国民体育大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	令和3年1月27日 ～31日	愛知県
第76回国民体育大会冬季大会 スキー競技会	令和3年2月18日 ～21日	秋田県
第41回北信越国民体育大会	令和2年8月21日 ～23日	富山県

第76回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会北信越・東海ブロック予選会	未定	未定
第76回国民体育大会冬季大会フィギュア競技会予選会	未定	未定

2 国体ユニフォーム購入補助事業

本県を代表する国体県選手団が着用する選手団ユニフォームの購入費の一部を補助する。

3 アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進

アンチ・ドーピングの普及・啓発活動を推進するため講習会を開催するとともに体力測定利用者への啓発を行う。

Ⅲ 新潟スポーツムーブメントの推進<県補助・自主>

(R2 : 3,067 千円 R1 : 2,961 千円)

1 新潟スポーツムーブメント推進事業

新潟県のスポーツ文化の発展を促すため、加盟団体等を対象としたコンプライアンスやハラスメント予防等に関するスポーツ・インテグリティ研修会を実施するとともに、スポーツ情報の提供、表彰の実施、スポーツ団体への支援、加盟団体との連携強化を図る。

事業名	期日	会場
スポーツ・インテグリティ研修会 (3回)	① 令和2年4月20日 ② ③ 令和2年6月 ～令和3年3月	① 新潟県民会館 ② ③新潟市内
加盟団体連携会議	令和2年4月20日	新潟県民会館

2 日本スポーツマスターズへの参加

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として愛媛県において開催される「日本スポーツマスターズ2020愛媛大会」(実施競技13競技)への参加業務を行う。

大会名	会期	開催地
日本スポーツマスターズ 2020大会	令和2年9月18日～22日 (中心会期)	愛媛県

IV 公認スポーツ指導者の養成<JSP0 受託・自主> (R2 : 2,200 千円 R1 : 2,272 千円)

1 公認スポーツ指導者講習会の開催

(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づき、バレーボールコーチ1、野球コーチ1、水泳コーチ1(競技団体自主開催)の養成講習会を開催する。

2 スポーツ指導者研修会の開催

スポーツ指導者の資質を向上するため、スポーツに関する最新の知識・情報の習得できる研修会を開催する。

研 修 会 名	期 日	会 場
新潟県スポーツ指導者研修会	令和3年2月7日	新潟ユニゾンプラザ

V 広域スポーツセンターの運営等<県受託> (R2 : 16,209 千円 R1 : 18,097 千円)

「新潟県スポーツ推進プラン」(平成28年3月策定)に基づき、県民一人一人が日常生活の中にスポーツを取り入れる社会の実現を図るため、新潟県が本会内に設置した「新潟県広域スポーツセンター」の事業を推進する。

1 新潟県広域スポーツセンターの事業推進等 (R2 : 13,430 千円 R1 : 14,980 千円)

事業推進拠点としての「新潟県広域スポーツセンター」の事業並びに新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、新潟県体育施設協会の運営及び事業推進、各種調査・統計資料作成などの関連業務を行う。

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援及び総合型クラブの質的向上と連携強化を図るため、研修会を開催するとともに、総合型クラブの経営をサポートするための事業及び地域におけるスポーツ人材の養成事業を実施する。また、クラブアドバイザーを1名配置する。

事 業 名	期 日	会 場
新潟県総合型地域スポーツクラブ研修会	令和2年8月25日 ~26日	阿賀野市笹神体育館
市町村・総合型クラブ合同研修会	令和2年4月23日	新潟ユニゾンプラザ

(2) スポーツと地域活性化の好循環創出事業の実施

県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会の実現を目指すため、東京オリンピック・パラリンピックの開催によるスポーツに対する関心の高まりを背景に、スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくり等への支援を通じ、スポーツによる地域活性化を推進する。(「NPO 法人ネージュスポーツクラブ」「松之山スキー協会」「南魚沼市」を指定団体とし、令和元年度から3年間継続支援)

(3) スポーツ情報の収集発信

新潟県広域スポーツセンターホームページの運営などにより、スポーツ情報の収集・発信を図る。

2 幼児期からの運動習慣アップのための支援 (R2 : 2,779 千円 R1 : 3,117 千円)

県内各地で誰もが幼児期に楽しく体を動かす「運動遊び」を経験でき、発達段階に応じた適切な援助を受けることができる環境の整備を図るため、公開保育形式によるモデル研修会を開催するとともに、保育者、スポーツ指導者をはじめ、子どもに関わる関係者が「運動遊び」に関する日頃の取組や子どもの援助方法等に関する意見交換や資質向上を図るための普及啓発セミナーを開催する。また、新たに地域における専門人材の養成を推進する。

VI 高等学校体育連盟助成金<自主> (R2 : 410 千円 R1 : 410 千円)

(公財)日本スポーツ協会のオフィシャルパートナーである大塚製薬(株)が実施する「推進費付き自動販売機設置事業」を活用し、県内高等学校に設置した自動販売機の販売手数料を新潟県高等学校体育連盟へ活動助成金として交付する。

VII スポーツ少年団の育成<JSP0 受託・助成・自主>

(R2 : 14,287 千円 R1 : 16,434 千円)

スポーツを通じて心身ともに健全な青少年を育成するため、日本スポーツ少年団等との連携により諸事業を実施するとともに、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ少年団としての取り組みを推進する。また、広くジュニアスポーツの振興を図るため、関係団体との連携を促進するとともに、「いじめ見逃しゼロ県民運動」も推進する。

1 県スポーツ少年団の運営及びスポーツ少年団登録の促進

(R2 : 7,937 千円 R1 : 8,126 千円)

(1) 新潟県スポーツ少年団の運営

ア 登録数の拡大促進

県内全市町村におけるスポーツ少年団の設置・登録(出雲崎町のみ未登録)及び登録者(団員・指導者・役職員)の増加を目指す。

<令和元年度登録実績: 単位団 614 団、団員 11,806 人、指導者・役職員 3,418 人>

イ 広報・情報提供等の推進

「にいがたスポ少ニュースレター」(2万部発行)等により広報・情報提供を図る。

ウ 顕彰の実施

単位スポーツ少年団及びスポーツ少年団指導者を表彰する。

エ 関連会議の開催及び参加

総会、正・副本部長会議、専門部会等を開催するとともに、日本スポーツ少年団及び北信越ブロックスポーツ少年団連絡協議会の会議に参加する。

2 事業の実施 (R2 : 6,350 千円 R1 : 8,308 千円)

(1) 広域（地域）活動の支援 (R2 : 250 千円 R1 : 250 千円)

上越・中越・下越地区における活動を支援する。

(2) 県大会の開催 (R2 : 2,758 千円 R1 : 2,740 千円)

第40回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会（名称変更）を開催する。

(約3,000人参加見込み)

開 催 競 技	会 期	開 催 地
剣道、卓球、バドミントン、柔道、空手道、軟式野球、サッカー、少林寺拳法、バレーボール、ミニバスケットボール	令和2年4月～ 11月	新潟市、長岡市、 上越市、三条市、 新発田市、佐渡市、 聖籠町

(3) 北信越ブロック事業の開催及び参加 (R2 : 1,453 千円 R1 : 615 千円)

北信越ブロックスポーツ少年団大会を開催し、北信越ブロック競技別交流大会等に参加する。

大 会 名	会 期	開 催 地
第51回北信越ブロックスポーツ少年団大会	令和2年9月20日～22日	国立妙高 青少年自然の家
第40回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会（ミニバス、バドミントン、卓球）	令和2年9月26日～27日	石川県
第18回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会北信越大会	令和2年11月7日～8日	石川県
第42回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会	令和2年7月4日～5日	長野県

(4) 全国交流大会等への派遣 (R2 : 244 千円 R1 : 362 千円)

全国スポーツ少年団大会及び全国スポーツ少年団競技別交流大会に参加する。また、令和4年度の第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会の開催準備を推進する。

大会名	会期	開催地
第58回全国スポーツ少年大会	令和2年7月31日 ～8月3日	静岡県
第42回全国スポーツ少年団 軟式野球交流大会	令和3年8月6日～9日	岩手県
第43回全国スポーツ少年団 剣道交流大会	令和3年3月26日～28日	福島県
第18回全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会	令和3年3月26日～29日	宮城県

(5) 国際交流活動の実施 (R2 : 310 千円 R1 : 1,333 千円)

第47回日独スポーツ少年団同時交流事業により団員1名を派遣する。また、東京オリンピック・パラリンピックに合わせて開催される日独スポーツ少年団ユースキャンプに本県からも指導者・団員各1名が参加する。

事業名	期日	開催地
派遣	令和3年7月27日～ 8月6日	ドイツ
2020日独スポーツ少年団ユース キャンプ	令和2年7月22日～ 8月8日	埼玉県

(6) 指導者の養成と資質向上の促進 (R2 : 626 千円 R1 : 1,723 千円)

スポーツ少年団指導者の養成と資質向上を図るため、スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会等を実施するとともに、関連事業への参加を促進する。

事業名	期日	開催地
スタートコーチ（スポーツ少年団） 養成講習会	①令和2年6月13日 ②令和2年10月11日	①新潟県健康づくり・スポーツ医学センター ②長岡市さいわいプラザ
ジュニアスポーツフォーラム	令和2年6月28日	東京都
北信越ブロックスポーツ少年団 指導者研究協議会	令和2年11月21日	石川県
新潟県スポーツ少年団 指導者研修会	令和2年12月12日	新潟県健康づくり・スポーツ医学センター
幼児期からのアクティブ・チャイルド・ プログラム普及講習会	令和2年11月23日	三条市 体育文化会館

幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会	令和2年5月 ～令和3年2月	全国3会場
幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会受講 修了者対象ブラッシュアップセミナー	令和2年5月 ～令和3年2月	全国3会場
スタートコーチ（スポーツ少年 団）インストラクター移行研修会	令和2年10月～11月	全国7会場 （北信越ブロック 会場含む）
スタートコーチ（スポーツ少年 団）インストラクター養成講習会	令和2年10月～11月 （予定）	大阪府

(7) リーダーの育成 (R2 : 709 千円 R1 : 1,285 千円)

スポーツ少年団リーダーの養成と資質向上を図るため、ジュニア・リーダースクール等を実施するとともに、関連事業への参加を促進する。

事業名	期 日	開催地
シニア・リーダースクール	令和2年9月19日～22日	静岡県
ジュニア・リーダースクール	令和2年8月8日～10日	国立妙高青少年 自然の家
全国スポーツ少年団リーダー 連絡会	令和2年6月27日～28日	東京都
北信越ブロックスポーツ少年団 リーダー研究大会	〔事前会議〕 令和2年9月5日～6日 〔研究大会〕 令和2年10月24日～25日	富山県
新潟県スポーツ少年団リーダー 研修会	令和2年4月19日	長岡市

(8) 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向けた取組み

日本スポーツ少年団と連携して、フェアプレーの推進や全国一斉活動（清掃・美化活動等の社会貢献活動）や平和スローガンの募集を推進する。

VIII 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営<県受託・県補助・自主>

(R2 : 181,047 千円 R1 : 181,374 千円)

新潟県の体育・スポーツ団体の統括組織としての特性を最大限に発揮して、加盟団体等との連携により、センターの施設・設備や診療所機能を十分に活用し、競技水準の向上に寄与するとともに健康づくり活動を支援する。

1 事業の実施

(1) 競技水準向上事業 (R2 : 72,347 千円 R1 : 72,213 千円)

ア 体力測定の実施

競技力向上を目指す競技者を中心に基礎的及び専門的な体力を把握し、トレーニング内容及び方向性を検討する。。

事業名	実施日
体力測定	毎週火・木・土曜日

イ 動作分析の実施

利用者それぞれのニーズに適したコース選択を促し、利用者ニーズの拡充を目的に出張対応等を行い、利用者数の増加を図る。これまで継続利用している個人・団体の利用促進はもちろんのこと、小・中学ジュニア選手の新規利用の拡大を目指し、年間利用者 350 人を見込み実施する。

事業名	実施日
スポーツ動作分析	毎日 (休館日・年末年始休日除く)

ウ 競技力向上相談の実施

体力測定や動作分析等の結果を基に、新たなトレーニング方法の導入や、トレーニング指導、栄養指導、スポーツ・メンタル等について専門職がサポートを行い、年間利用者 1,922 人を見込み実施する。

事業名	実施日
競技力向上相談	毎日 (休館日・年末年始休日除く)
トレーニング指導	
スポーツ栄養サポート	
スポーツメンタル指導	

エ スポーツ医科学サポート補助事業

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターにおいて、国体候補選手及びジュニア選手等が実施する体力測定及び動作分析の測定料金を補助する。

(2) 診療所の運営 (R2 : 40,742 千円 R1 : 40,446 千円)

医療安全管理指針に基づいた安全・安心な医療と新潟大学医学部及び県内医療機関との病診連携により診療の充実に努める。

ア 内科

体力測定及び生活習慣しっかり改善コース、個別プログラムサービス受講者の医学検査の年間利用者 1,810 人及び内科外来 360 人を見込み実施する。

イ 整形外科・リハビリテーション科

スポーツによる障害・外傷を対象とした外来を行い、整形外科は年間外来日 125 日、年間受診者 2,000 人、リハビリテーション科は、年間外来日 250 日、年間受診者 1,400 人を見込み実施する。

事業名	実施日
内科	毎週火・木・土曜日
整形外科	毎週火・木曜日・隔週土曜日
リハビリテーション科	毎週火～土曜日

(3) 健康づくり実践指導事業 (R2 : 24,425 千円 R1 : 24,365 千円)

県内の健康づくり活動の普及を目的に、健康づくり実践指導事業（生活習慣しっかり改善コース・親子健康づくりプログラム）を積極的に推進することで、県民全体の健康寿命の更なる延伸を目指す。

ア 生活習慣しっかり改善コース

健康づくりのモデルコースとして実施し、有益なデータや取り組み事例を蓄積・発信する。1 コース 12 回、定員 15 人、年間 6 コース設定し、年間利用者 1,080 人を見込み実施する。

イ 親子コースの開催

親子の絆を深めながら一緒に学べるモデルコースとして実施し、健やかな生活習慣の基礎を確立できる「親子健康づくりプログラム」の開発を目指す。

小児科医師の講和、体力測定、運動、調理などをテーマに 1 コース 4 回、前期(8 月)と後期(2 月)の年間 2 コースとし、各回の定員は親子 15 組(30 人)、年間利用者 240 人を見込み実施する。

ウ 健康づくり実践指導者研修(人材育成)

改善コースと親子コースへのコース参加型と指導者ニーズ対応型の 2 つの研修実施により、健康づくり活動を実践的に指導できる指導者の人材育成を図る。年間利用者をコース参加型は 100 人、ニーズ対応型は 250 人を見込み実施する。

エ 個別プログラムサービスの実施

健康の保持増進を目的に取り組みたい方を対象に、健康サポート個別コースとオプションメニューにより、健康づくり実践指導事業を補完し、継続的なフィットネスホール利用の促進を図る。年間利用者 675 人を見込み実施する。

オ 健康づくりのための運動指導者研修会の開催

生活習慣病予防対策として運動習慣の普及・定着を推進するため、研修会を開催し、健康づくり指導者等の資質の向上を図る。

事業名	実施日
生活習慣しっかり改善コース	4・8・12月の毎週木・土曜日 (各コース全12回)
親子コース	8月・2月の毎週土曜日 (各コース全4回)
健康づくり実践指導者研修	コース実施日及び依頼日
個別プログラムサービス	毎日(休館日・年末年始休日除く)
健康づくりのための運動指導者研修会	10月・12月(各1コース)

(4) 施設一般利用 (R2 : 37,496千円 R1 : 38,197千円)

ア フィットネスホールの利用

フリーパス券の複数種類提供や、各種事業との連携、利用者ニーズに対応する等により、長期的、継続的な利用を促進し、年間利用者 31,610 人を見込み実施する。

イ 研修室等の利用

メディアの活用や他の公共施設・スタジアムとの連携により、県民に対する当センター研修室等の認知度を高め、利用拡大を図る。また付属設備機器を用意するなど利用者ニーズ対応を進め、年間利用者 11,058 人を見込み実施する。

事業名	実施日
フィットネスホール利用	毎日(休館日・年末年始休日除く)
研修室等利用	

(5) スポーツと健康づくりの情報発信

(R2 : 4,770千円 R1 : 4,959千円)

県民の利用拡充を図るため、休憩コーナーの機能を維持しつつ、読書コーナー、ベビーコーナー等、利用者のニーズを踏まえた環境整備を随時行うとともに、ホームページ広報媒体等を活用し情報発信に努める。

(6) 県民講座の開催 (R2 : 1,267千円 R1 : 1,194千円)

健康づくり及び競技スポーツに関する公開講座や運動教室、専門者向けの講習会等を開催し、県民の知識・技術の習得に寄与する。センターの賑わい創出を図るイベントを随時企画開催し、年間利用者 1,960 人を見込み実施する。

事業名	実施日
一般講座	4月～3月(20回)
専門講座	3月(1回)
県民講座にぎわいイベント	大規模イベント時に共同開催

B 収益事業 <県受託・自主> (R2 : 5,137 千円 R1 : 5,184 千円)

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの研修室等利用のうち公益目的に該当しない利用目的で貸出している研修室等について管理運営する。

C 法人事業 <自主> (R2 : 24,551 千円 R1 : 23,070 千円)

1 評議員会及び理事会の開催

会 議 名	期 日	会 場
定時評議員会	令和2年6月24日	アートホテル新潟駅前
臨時評議員会	令和3年3月26日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
理事会	第1回	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
	第2回	アートホテル新潟駅前
	第3回	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
	第4回	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

・専門委員会 随時 開催

総務・財務専門委員会、競技力向上専門委員会、生涯スポーツ専門委員会、スポーツ医科学専門委員会、公認スポーツ指導者専門委員会

2 加盟団体等との連携強化

加盟団体等との連携強化を図るため、諸事業を実施する。

事 業 名	期 日	会 場
加盟団体連携会議 (再掲)	令和2年4月20日	新潟県民会館
ゴルフ大会	令和2年7月17日	ヨネックスカントリークラブ
表彰式	令和2年12月12日	ホテルイタリア軒
新年会	令和3年1月16日	ANAクラウンプラザホテル新潟

表記

<県受託> : 県から委託を受けて実施する事業

<県補助> : 県から補助金を受けて実施する事業

<JSP0 受託> : 日本スポーツ協会から委託を受けて実施する事業

<JSP0 助成> : 日本スポーツ協会から助成金 (補助金・交付金含む) を受けて実施する事業

<自主> : 基金運用益等を財源として実施する事業

